

## 令和7年9月定例教育委員会会議録

日 時 令和7年8月29日（金）午後1時30分から  
場 所 市役所南別館3階 教育委員会室

### 出席者

教育委員：児玉教育長、赤松委員、岡村委員、中原委員、宮田委員

説明者：黒木教育部長、清水教育政策課長、宮崎学校教育課長、湯田生涯学習課長（代理：上原副課長）、徳永文化財課長、田之上都城島津邸館長、岩崎高城地域生活課長

事務局：山崎教育政策課副課長、関根教育政策課主任主事

### 1. 開会

教育長から、令和7年9月定例教育委員会の開会が宣言された。終了時刻は午後3時30分、2時間程度を予定している旨が告げられた。

教育長から、8月21日に開催された九州市町村教育委員会研修会への参加に対する謝意が述べられた。来年度は本市開催となるため、視察地を設けて視察を行う予定であることが報告された。

### 2. 市民憲章朗読

### 3. 前会議録の承認

令和7年3月定例教育委員会の会議録が配付され、本委員会終了後に各委員が署名することとなった。

### 4. 会議録署名委員の指名

都城市教育委員会会議等に関する規則第15条の規定により、中原委員及び岡村委員が会議録署名委員に指名された。

### 5. 教育長報告

#### 5.1 学校活動報告

教育長から、妻ヶ丘中学校男子バレー部が九州大会で準優勝し全国大会に出場していること、祝吉小学校6年生の岩切知輝さんが囲碁の大会で全国優勝を果たしたことが報告された。後日、岩

切さんは市長への表敬訪問を予定している。

各学校のボランティア活動について、学校ホームページを参照しながら報告された。高崎中学校、高城中学校、志和池中学校、姫城中学校などで、地域貢献活動やボランティア活動が活発に行われている。

## 5.2 歴史資料館事業

歴史資料館特別展「戦中・戦後の都城のまち・人々の暮らし」が実施され、菓子野小学校では戦争遺品を集めて子どもたちが平和学習を行った事例が紹介された。

## 5.3 教育長スクールミーティング

8月に実施された教育長スクールミーティングについて報告された。四つの話題（誰一人取り残されない学び、もう一步踏み込もう「わさび」、家庭の経済力と学力との相関、学力向上と言わずに成績UP）で構成された。

感想が488名の教職員から寄せられ、生成AI（Gemini）で分析した結果、以下の5点にまとめられた。

1. 子どもが主役の授業への共感と実践意欲の高まり
2. 人間力・非認知能力育成の重要性の認識
3. 家庭環境・経済状況と学力の関係性への新たな視点
4. 教師自身の「アップデート」と「トライアル&エラー」の重要性
5. 共通理解と連携の必要性

一方で、批判的な意見として以下の3点が抽出された。

1. ICT活用における実践の難しさと課題（時間不足、参考データ不足、端末使用時の生徒管理への不安）
2. 子どもが主役・複線型・自由進度学習への移行についての不安や疑問（下位層の子どもへの対応、低学年での実施可能性）
3. 教師の多忙化と研修実践の機会確保への要望

教育長は、これらの課題に対して、学び方のトレーニングの必要性、学級経営の重要性、教員の4月の残業時間削減の検討などについて言及した。

夏休み中の各学校での研修活動が、学校ホームページを参照しながら紹介された。

## 5.4 生徒指導状況報告（7月分）

### 5.4.1 不登校及び不登校傾向

小学校：昨年度比42人増加（継続17名増）

中学校：昨年度比49人増加（継続1名増）

### 5.4.2 適応指導教室等の利用状況

スプリング教室：11名（小学生1名、中学生10名）

青空ラボ：27名（小学生9名、中学生18名）

校内支援教室（SSR）：妻ヶ丘中学校16名、山田中学校7名

### 5.4.3 暴力行為

小学校1件（生徒間暴力、小学校5年生による相互の殴り合い）

### 5.4.4 非行等

小学校2件（いずれも万引き）

中学校3件

1. 窃盗・不法侵入（中学2年生、女子生徒宅への侵入と窃盗）
2. 夜間徘徊・窃盗（中学2年生と1年生のグループ、喫煙と自転車窃盗）
3. 薬物過剰摂取（中学2年生女子、薬物19錠服用）

### 5.4.5 交通事故・事故の報告

小学校1件（登校中、6年生男子が車と接触）

中学校2件（いずれも2年生、自転車事故及び部活動中の事故）

### 5.4.6 いじめ

7月把握分：小学校86件、中学校14件

特異ないじめの事案：小学校4件、中学校1件

令和6年度に認知したいじめの解消率：小学校99%、中学校94%

## 5.5 その他

非公開の議事として、虐待とヤングケアラー等について報告が行われた。

## 6. 議事

### 6.1 報告第 87 号 都城市高城郷土資料館イベント「お城で歴史巡見」開催要項の制定について

説明（高城地域生活課長）：都城市近辺の史跡を巡ることにより南九州の歴史を学び、郷土の歴史理解を深め、郷土資料館の PR 及び利用促進を図ることを目的とする。令和7年11月15日（土）、開催予定。伊東八外城の城跡（下の城跡、山之口城跡、松尾城跡、小山城跡、野々美谷城跡、勝岡城跡、梶山城跡）を巡る。対象は市内在住者、定員20名、参加費は実費負担（昼食代）。広報都城とホームページで募集し、先着順とする。

質問（岡村委員）：例年の参加者数はどの程度か。

回答（高城地域生活課長）：広報とホームページに掲載後、概ねその日のうちに20名が埋まる状況である。キャンセル待ちもある。「昔を語る会」という団体のメンバーが多く参加している。

報告第87号は承認された。

### 6.2 報告第 88 号 都城市高城郷土資料館企画展「お城でミニ見に刀展」開催要項の制定について

説明（高城地域生活課長）：高城郷土資料館の収蔵刀を展示し、武器としての刀だけでなく日本文化の素晴らしさや技術の高さを理解してもらうことを目的とする。令和7年9月20日（土）から11月3日（月・祝）まで、休館日を除く39日間開催。収蔵刀8本と刀の装飾品、火縄銃3丁を展示予定。10月4日（土）には都城翔秀館道場の協力により日本刀講座を開催する。

質問（岡村委員）：毎年展示内容は同じか。

回答（高城地域生活課長）：毎年同じものを展示している。日本刀講座を開催する関係で、刀に興味のある方が定期的に来館している。

質問（岡村委員）：刀の保管方法は。

回答（高城地域生活課長）：都城翔秀館道場に年1回程度手入れを行っていただいている。

報告第88号は承認された。

### 6.3 報告第 85 号 都城島津邸石蔵カフェオープンについて

説明（都城島津邸館長）：都城島津邸石蔵カフェ運営等業務委託として、令和7年8月29日から令和10年8月31日まで「日本茶専門店 日向時間」が運営する。委託料の支払いはなく、運営の収支は全て受注者に帰属させる。契約締結後に石蔵内の汚れが発覚し、清掃を実施したため、8月29日（金）からの履行期間に変更契約を行う。

8月29日（金）11時30分からオープニングイベントを開催し、都城茶と島津弁当セット（季節の和菓子付き）の試食会を実施した。このセットはインバウンド誘客対策として、旅行会社か

らの要望に応えるかたちで実現した。最少6名から3日前に予約が必要。石蔵カフェでは茶や雑貨なども販売する。全国約3,000社の旅行会社にPR可能な全旅クーポンに加盟し、国内外のツアー行程に組み込まれることを期待している。

質疑応答はなく、報告第85号は承認された。

#### 6.4 報告第86号 都城島津邸秋季イベント「島津 de 秋の陣！2025」の開催について

説明（都城島津邸館長）：地元の歴史と文化に親しむきっかけを提供し、秋の行楽シーズン及び特別展開催期間中に、家族での来館を促し、入館者増を目的に開催する。令和7年10月25日（土）10時から15時まで開催（雨天時は翌26日に順延）。都城島津邸広場で、四半的体验やむかし遊び体験、人力車体験、都城島津家家紋入りの陣幕をバックに「ぼんちくん」と記念撮影などを実施。入場無料（本邸特別展の観覧料は別途必要）。

質疑応答はなく、報告第86号は承認された。

#### 6.5 報告第84号 令和7年度歴史シンポジウム「その城の名は都城！！～城が語る都城盆地の中世～」開催要項の制定について

説明（文化財課長）：市名の由来となった中世城郭「都城」が築城されて650年目の節目にあたることから、「城」にスポットを当て、全国又は県内の事例と比較しながら都城盆地に築かれた中世城郭の謎について迫る。令和8年1月18日（日）13時から15時30分まで、ウエルネス交流プラザ2階ムジカホールで開催。

講師は、日本城郭考古学者の千田嘉博氏（基調講演）、宮崎市文化財課学芸員の竹中克繁氏、元都城市文化財課長で九州大学大学院研究員の榎畑光博氏（パネリスト）。入場無料、事前申込制、先着順。12月1日（月）から広報開始、12月15日（月）から1月7日（金）まで申込受付。ホワイエでは「都城」の城郭パネルや出土品を展示し、隣接の図書館では巡回展を同時開催する。満席を目指してPRに力を入れる。

質疑応答はなく、報告第84号は承認された。

#### 6.6 報告第79号 都城市公民館条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則の制定について

説明（生涯学習課副課長）：小松原地区公民館の建替に伴い、既存公民館から仮設公民館へ移転することにより、所在地及び使用料に変更が生じるため、2月の定例教育委員会で条例の一部改正を報告した。その後、仮設公民館の整備スケジュールが確定したため、条例の一部改正の施行期日を令和7年10月1日に定めるもの。

仮設公民館は旧大王保育所敷地（都城市平江町44号2番地）に整備中。会議室2室を設置し、合わせて一つの部屋としても使用可能となる。設置期間は令和7年10月から令和9年3月まで

の18ヶ月間。使用料は都城市使用料等審議会の答申に基づき設定した。

質疑応答はなく、報告第79号は承認された。

#### 6.7 報告第80号 令和7年人権啓発・子どもすこやか合同講演会開催要項の制定について

説明（生涯学習課副課長）：12月4日から10日までの「人権週間」と11月の「子ども・若者育成支援強調月間」に関連し、都城市教育委員会、都城市人権啓発推進協議会、都城市青少年健全育成市民会議の主催により開催。人権啓発及び青少年育成の取組を一体的に推進し、幅広い分野への啓発を図る。

講演会は11月24日（月・祝）に開催。対象は都城市人権啓発推進協議会委員、青少年健全育成市民会議構成員、小中学校PTA会員、家庭教育学級生、一般市民。講演会前に人権啓発標語入賞者表彰式を開催。講師は漫画家・タレントの星野ルネ氏。演題は『アフリカ少年が日本で育って考えたこと～多様な人が共生する社会とは～』。

質疑応答はなく、報告第80号は承認された。

#### 6.8 報告第81号 都城市青少年育成センター運営規則の一部改正について

説明（生涯学習課副課長）：青少年育成センターが令和7年4月に学校教育課から生涯学習課へ事務移管したことに伴い、運営規則の一部を改正する。改正内容は、事務職員の所属課名を学校教育課から生涯学習課へ変更することと、青少年指導員の兼任する肩書きを教育相談員から社会教育指導員に変更することの2点。

質疑応答はなく、報告第81号は承認された。

#### 6.9 報告第82号 令和7年度都城市共生社会を目指す生涯学習推進事業実施要領の制定について

説明（生涯学習課副課長）：障がいの有無にかかわらず誰もがいつでもどこでも学べる学習環境の実現を目指す。文部科学省の「学校卒業後における障がい者の学びの支援推進事業」を県が受託し、県からの再委託により本市が実施。今年で3年目。単年度の委託契約のため、実施要領を制定。

昨年度は防災対策体験、フラワーアレンジメント体験、かぎ編み体験、書道体験2回の計5教室を開催。防災対策体験教室では、避難所開設を想定した運営を実践。今年度も昨年度の内容をブラッシュアップして開催予定。その他新たな体験教室を含め、計5教室開催し、障がい者の学びを支援する。

質疑応答はなく、報告第82号は承認された。

**6.10 報告第77号 臨時代理した事務の報告及び承認について（令和7年度小規模特認校制度を利用した転入学について）**

説明（学校教育課長）：令和7年8月に小規模特認校制度を利用し転入学を許可した児童生徒は夏尾小学校の1名。児童は小規模な環境で学習をしたいという希望から夏尾小学校に転入し、新しい環境に適応し順調に学校生活を送っている。

質疑応答はなく、報告第77号は承認された。

**6.11 報告第78号 令和7年度都城市小・中学生プレゼンコンテスト実施要項の制定について**

説明（学校教育課長）：令和8年2月7日（土）、高崎保健福祉センター多目的ホールで開催。内容は昨年度と大きな変更はない。審査委員は都城市教育長、教育委員代表1名、教育研究所所長、学識経験者、協賛企業役員、デジタル統括課長の計6名。教育委員代表は宮田委員に依頼予定。シフトプラス株式会社からは告知用ポスター制作、本審査の撮影、ライブ配信、アーカイブ動画作成等について無償で協力をいただく。

質疑応答はなく、報告第78号は承認された。

**6.12 報告第89号 幼保小連携・接続に係る「都城市架け橋期カリキュラム」について**

説明（学校教育課長）：文部科学省は5歳児から小学校1年生の2年間を「架け橋期」と位置付け、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図る「幼保小の架け橋プログラム」を推進している。本市ではこども部保育課が主体となり、学校教育課と連携して事業を推進。

本市が目指す子ども像は「自分の思いを言葉や態度で表現するとともに、相手のことを思いやる優しい心をもつ子ども」。令和5年度から県の指定を受け、姫城地区をモデルとして事業を開始。令和7年度は年2回の代表者会議及び年3回の実務者研修会を通してカリキュラム作成に取り組んでいる。

10月20日（月）に各小学校へのオンライン説明会を実施（講師：南九州大学藤本朋美准教授）。令和8年度は、モデル地区のカリキュラムを参考に、夏休み期間中を目途に全学校でカリキュラムを作成し、必要に応じて小学校区にある園とのすり合わせを行い、架け橋期カリキュラムを完成させる計画。

質問（岡村委員）：C4thとは何か。また、宮崎市方式とは具体的にどのようなものか。

回答（学校教育課長）：C4thは校務支援システムで、各学校で先生方が活用するグループウェア。文書発送や連絡に利用している。宮崎市方式とは、カリキュラムを共有して連携を図る際に、地区ごとに担当者会を開き、具体的な工夫について話し合う方法。宮崎市は赤江地区がモデル地区で、本市より半年程度先行しているが、全員が一緒に取り組まないと取り残される園が出る懸念

がある。本市は先行事例を参考にしながら、園や学校の負担も考慮し、現実的な方法を採用する予定。

意見（岡村委員）：架け橋期は重要で、不登校問題にも繋がる。各園の方針が異なり、小学校に入学した際に戸惑う子どもが多いため、連携が重要である。

意見（中原委員）：この取組には大賛成である。姫城地区での取組で、小学校教職員のグループワークにおける着眼点や視点に大きな違いがあることが成果の一つだった。子どものパスポート構築の入口になると考えている。本市は移住定住で子どもが増えているが、希望する保育園に入れず、自宅や職場から遠い保育園に通う事例が増えており、小学校への進学時にバラバラになる可能性がある。相互理解と歩み寄りが重要である。小1の壁は数十年来の課題だが、このプログラムにより学校側もスムーズに子どもの育成に関われる。幼児教育施設で取り組んでいる10の姿を学校側もよく理解する必要がある。

意見（教育長）：学校教育課には保育園幼稚園の専門家がないのがネックであるため、相互理解を深め、一歩前に進めるようお願いしたい。

報告第89号は承認された。

### 6.13 報告第83号 学校に掲示する看板等設置基準の一部改正について

説明（教育政策課長）：令和2年8月27日付で設置基準を制定し、以前は民間企業の広告が入りカラフルであった看板を、宮崎県屋外広告物条例に沿って統一した。今回、令和9年度開催の国民スポーツ大会に向けた機運醸成のため、小中学校に看板を設置することとなった。令和7年10月から令和9年10月ごろまで正門付近に設置予定。

看板は全九州広告美術コンクール出品作品を使用するが、現時点でデザインが不明のため、現行基準（原則黒赤青の3色使用）に抵触する可能性がある。そのため、4の掲示内容(5)に「その他、教育委員会が認める場合はこの限りではない」、6の管理方法(5)に「その他、教育委員会が指定する事項によって管理すること」を追記する。

質問（岡村委員）：この改正は国スポの看板設置のためのものか。

回答（教育政策課長）：国スポのためだが、今後他の大きな事業でも機運醸成のための看板設置の可能性があるため、「教育委員会が認める場合」という文言を追加した。

質問（岡村委員）：掲示期間中の管理は学校側に依頼するのか。

回答（教育政策課長）：基本的には国スポ大会局が行うが、台風時など緊急時には学校に協力をお願いすることがある。頻繁に撤去しなくて済むよう頑丈に設置する予定。場所によって対応は異なるが、できるだけ学校に負担をかけないようにする。

報告第83号は承認された。

#### 6.14 議案第14号 令和7年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の実施要領の制定について

説明（教育政策課長）：地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、毎年教育委員会の権限に属する事務の管理・執行状況の点検評価を行い、報告書を作成して議会に提出及び公表する。学識経験者の知見を活用するため、外部評価委員2名を委嘱している。

点検評価の方法は、教育委員会の会議運営等については教育委員が自己点検し、外部評価委員が評価する。教育委員会が管理・執行又は教育長に委任する事務については、令和6年度主要事業や各種指標の進捗管理を整理し、外部評価委員とのヒアリングを実施する。今年度は昨年度と同じスケジュールだが、来年度はより早期に取りかかる予定。教育委員には自己点検評価を9月24日（水）までに提出いただきたい。

質疑応答はなく、議案第14号は承認された。

#### 6.15 議案第15号 令和7年度都城市教育委員会外部評価委員の委嘱について

説明（教育政策課長）：都城市教育委員会外部評価委員設置規程第3条により、宮内孝氏（南九州大学人間発達学部子ども教育学科教授）及び岩崎元子氏（元江平小学校校長、前都城市PTA連絡協議会事務局長）の2名を前年度に引き続き外部評価委員に委嘱する。任期は委嘱日から令和8年3月31日まで。

質疑応答はなく、議案第15号は承認された。

#### 6.16 議案第16号 令和7年度9月補正予算について

説明（教育部長）：教育政策課ほか4課が要求し、補正予算総額歳入は720万9千円、歳出は3億4千846万4千円。

（主な歳入）

教育政策課：学びの多様化学校設置に係る国庫支出金、向原東地区子供会及び外山木材株式会社からの指定寄附金

生涯学習課：外山木材株式会社からの指定寄附金

文化財課：郡元西原遺跡保存整備事業に係る国庫支出金の増

高城地域生活課：公立幼稚園保育料施設型給付費の増

(主な歳出)

教育政策課：学びの多様化学校設置事業（施設整備工事請負費、消耗品、備品購入費等）、空調機故障に伴う修繕費等

学校教育課：外国にルーツを持つ子ども支援事業（日本語教育サポーター配置に係る経費の増）

生涯学習課：横市地区公民館排水管改修工事に係る工事請負費、図書館防犯カメラ等修繕料

文化財課：郡元西原遺跡保存整備事業（用地取得費等の増）

学校給食課：学校給食センター賄材料費（物価高騰対応）

都城島津邸：樹木植替に係る委託料

高城地域生活課：高城幼稚園空調設備更新に係る委託料

質疑応答はなく、議案第16号は承認された。

## 7. その他

### 7.1 全国学力学習状況調査の結果について

説明（学校教育課長）：令和7年4月14日から17日に実施された全国学力学習状況調査の結果が8月1日に報道解禁された。今年度から文部科学省は都道府県順位を公表せず、県教育委員会も市町村順位を公表していない。

本市の結果は、小学校も中学校も全教科で国県の平均を下回った。上位層が少なく下位層が多く、昨年度と同様の傾向である。学習状況調査の質問紙では、小学校は「学校に行くのは楽しい」が高い一方、「1日当たりの勉強時間」が少なく、中学校は「困っている人を助ける」が高い一方「数学の授業内容がわかる」が低い。

全国的な学力調査に関する専門家会議の資料によると、主体的対話的で深い学びの実践と学力調査正答率に相関があり、本市でも同程度の肯定的割合だった。ICT機器活用の自信と主体的探究的な学びにも相関があり、本市は非常に高い肯定的割合だった。学校以外の学習時間は全国的に減少傾向で、本市は全国よりさらに短い。社会経済的背景（SES）が低いグループでも主体的対話的な深い学びにより正答率が上がるというデータがある。

夏休み期間中の教育長スクールミーティングで結果や分析を周知し、子どもが主役の授業のさらなる推進について説明した。教職員の意識変革を図り、授業改善を実現させながら研究工夫を重ね、子どもの学力を確かなものになりたい。

質問（赤松委員）：主体的対話的な学びや自分から取り組む姿勢、ICT活用の自信など良いデータがあるのに結果に結びつかない要因は何か。

回答（学校教育課長）：子どもが主役の授業への転換は徐々に進んでいるが、基礎的なところも含めて難しい問題にチャレンジする気持ちや回答率が低く、諦めてしまう子どもがまだ多い。やればできる、自分なりに取り組めばできるという感覚を育てるところまで至っていない。子どもが主役の授業をもう少し研究を進める必要がある。

意見（赤松委員）：子どもが自分で問題を解いて喜びを感じ、先生がそれを褒める、そういうことを大事にする教員の姿勢が重要ではないか。子どもが伸びる姿を見ることが教員のやりがいであることを、校長を通じて指導を強化してほしい。

意見（岡村委員）：相関係数は平均すると0.2から0.25程度で高くないが、数学は相関係数が高く効果的と見られる。この傾向はどう判断するか。

回答（教育長）：平均するとこの数値になるが、従来の相関と比べて傾きがかなり大きくなってきたため、エビデンスとして示されている。主体的対話的な深い学びに取り組んできたことがスコアとして上がってきている。

## 7.2 支援訪問について

9月6日から第2期の支援訪問が開始される。各教育委員には依頼文書を送付済みで、出席をお願いしたい。

## 7.3 2 学期開催の運動会体育大会について

教育委員会の出席を求められている学校が5校ある。各委員の予定を伺う文書を配布したので、出席可能な日程を後日お知らせいただきたい。

## 8. 今後の予定

事務局から、9月及び10月のスケジュールについて説明があった。

9月5日：有水中学校学校訪問（中原委員）

9月11日：祝吉小学校学校訪問（岡村委員）

9月17日：乙房小学校学校訪問（中原委員）

9月19日：梅北小学校学校訪問（岡村委員）

9月24日：夏尾中学校学校訪問（宮田委員）

9月26日：山之口中学校学校訪問（中原委員）

10月1日：西岳小学校学校訪問（赤松委員）

10月6日：10月定例教育委員会（南別館3階委員会室）

10月7日：山之口小学校学校訪問（宮田委員）

10月10日：都城島津邸特別展開会式典・内覧会

10月28日：姫城中学校学校訪問（赤松委員）

## 9. 閉会

教育長から、令和7年9月定例教育委員会の閉会が宣言された。

この会議録は、真正であることを認め、ここに署名する。

署名委員

署名委員

書記

教育長